

平成27年度第1回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 東京都小平市企画政策部行政経営課

開催日 平成27年5月15日（金） 午後3時から午後5時まで
開催場所 武蔵野スイングホール スカイルーム（東京都武蔵野市）
参加者数 88人（多摩地域24団体83人、その他3団体5人）

内容報告

1 武蔵野市における公共施設等総合管理計画策定の取組状況

講師 武蔵野市 総合政策部 企画調整課 主任 金子 雅巳 氏

平成27年度中に公共施設等総合管理計画の策定を予定している武蔵野市から、その進捗状況等について、ご紹介いただきました。

武蔵野市では、第五期長期計画調整計画と連動した計画策定体制を整備し、インハウスで策定します。市民参加については、パブリックコメントをはじめ、市民意見交換会、市民説明会を実施する予定であり、課題としては「不確定要素の強い事業の存在」や「目標値の定め方」があるといったことなどについてお話がありました。



2 グループディスカッション ～公共施設等総合管理計画を中心に～

1 グループ8人程度で12グループに分かれ、公共施設等総合管理計画の策定体制や進捗状況、民間事業者による支援業務、公会計との連動などについて、情報交換を行いました。



況、民間事業者による支援業務、公会計との連動などについて、情報交換を行いました。

総じてまだ行政内部で検討中という自治体が多く見受けられましたが、各グループ内では、活発な議論が交わされ、事後アンケートでは「50分のディスカッション時間が短い」といった積極的なご意見もいただきました。

3 各市からの近況報告

(1) 小平市（企画政策部 行政経営課 施設マネジメント担当 係長 戸部 陽介 氏）

小平市では、平成11年度から取組を始めており、平成27年2月に公共施設白書を発行した後に、平成27年4月までの短期間で市民アンケート、シンポジウム、市民意見交換会などを実施したことについて報告しました。すべて自前で作業を行い、将来世代も豊かに暮らせる社会、まちづくりの実現のために「頑張りますよ！！」といった力強い発言もありました。

(2) 東村山市（経営政策部 施設再生推進課 課長 笠原 貴典 氏）

東村山市では、平成22年度に総合計画及び行財政改革大綱に公共施設再生計画の策定を位置づけており、劣化度調査、公共施設白書の作成、市民アンケートの実施などを経て、基本方針、基本計画の策定までの取組について報告していただきました。公共施設等再生基金を創設するとともに、徐々に体制も整備され、今後は固定資産台帳の整備を通じて「どうせやるなら公共施設マネジメントへの活用を！」検討していくとのことでした。

(3) 東大和市（企画財政部 企画課 企画担当 主任 菅原 雄一郎 氏）

東大和市では、公共施設等総合管理計画策定支援業務委託事業者の選定経過を報告していただきました。平成26年度末から平成28年度までの3年度にまたがる支援では、公共施設白書の作成、市民アンケート、市民意見交換会の実施をはじめ、固定資産台帳に記載すべき有形固定資産の情報収集なども業務委託範囲に含めているとのことでした。

4 その他

地域会終了後、交流会を開催し、FM担当者同士の意見交換や交流を図ることができました。

多摩地域会は、今回が初めての開催となりましたが、様々な方のご支援のもと、多くの方にご参加いただき、関係者、参加者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

今後も、FM関係者が顔の見える形で先進事例を学びながら、情報交換や交流を行うことによって、自治体等のネットワークの強化を図るとともに、意識レベル・知識レベルの向上を図るため、多摩地域会を開催したいと考えております。今後とも皆さまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

